

循環浴槽系統内の高濃度二酸化塩素処理

スーパークロリネーション（高濃度塩素処理）だけではレジオネラ菌が検出されてしまうことが多々あります。レジオネラ菌対策に関する専門的な知識が無く、施設スタッフ様が危険部位への通水作業をおこなうことができない場合などに実施することが多いです。水質検査でレジオネラ菌が検出された場合、根本的な解決のために過酸化水素による配管洗浄をお勧めしておりますが、どうしても時間的な問題や費用の問題がクリアできない場合は、一時的な処置として高濃度二酸化塩素処理をおこなうこともあります。

■使用薬剤：業務用二酸化塩素 ※高濃度となるため、施設スタッフ様では取扱いできません。

■作業内容：①浴槽水へ高濃度二酸化塩素を投入【設定濃度：8～12ppm/2～3h 後】

②ろ過循環運転

③死水ポイントのバルブ調整（二酸化塩素を配管内に行き渡らせます）

④ジェットやバイブラ等の気泡発生装置作動（運転⇄停止を繰り返す）

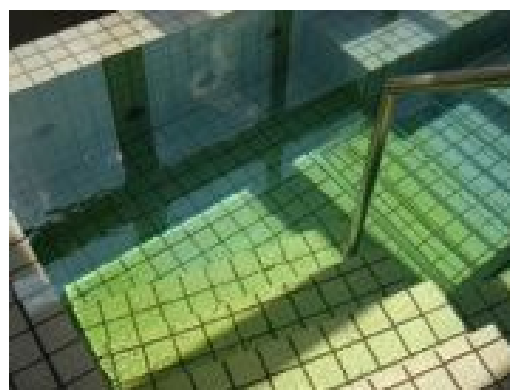
⑤逆洗および中和

⑥排水

■作業時間：規模にもよりますが、消毒作業は2～3時間程度。（+ 排水・湯張りの時間）



基本的には浴槽吸込み口（ろ過機へ向かう）から高濃度二酸化塩素を投入します。
（上記はオーバーフロー回収溝から投入）



投入後まもなく、ろ過機を通して二酸化塩素が浴槽へ戻ってきます。
（循環経路内の消毒中）



気泡発生装置を作動する。
作動し続けると二酸化塩素が空气中に逃げるため、運転⇄停止を数回繰り返します。



天然温泉や循環経路内の汚れがひどい場合、二酸化塩素が反応してしまい濃度が低下するため確認します。